

第8回 協議会より



「昭和町の集落構成について」

…キーワード＝水、水はけ…

建築家 久保田 要

(はじめに)

昭和町が、甲府盆地の“すり鉢”の底に位置していることは、周知のとおりです。

また、盆地周辺に降る雨や雪の伏流水が集結してくる場所でもあります。

その歴史は、まさに“水との戦い”であったことは、あまりにも有名であります。信玄堤に代表される治水技術がもたらした繁栄は、今日の源です。

すなわち、“水との関わり合い”を抜きにして、昭和町の集落は語り得ません。

昭和町河東中島在住の柳沢八十一氏（郷土史家、昭和町ホテル愛護会・会長）が農業のかたわら記した昭和町の歴史、暮らし（ライフスタイル）、等（氏いわく、「私は学者ではありません。農民の躰で体験した場所の意味を、70数年の経験から語るだけ…〈参考〉昭和町広報・昭和59年8月—62年12月）は、ヨリ若い世代の私達が忘れていた“記憶”を呼び覚ます大切なビジョンとして、大いに参考にしなければならないでしょう。

以下の考察は、柳沢氏から伺った貴重な“体験に基づく郷土史観”から刺激を得て生まれたものです。

そして、昭和町の集落構成を分析・評価・検討することは、広く、甲府盆地における富士川と笛吹川に挟まれた“黄金のデルタ地帯”における地域づくりの指針にもつながるものと確信します。

■ 集落空間構成について（フィールドワークの結果）

〈集落の型〉

- (1) 古来からの沖積層（中州）の上にある集落 … 丸い沖積層の等高線上に効率よく水路、道をつけ、それに沿って家々を配した。 →〈丸型〉

(2) 築堤が進み開拓されながら造られた集落 … 道を軸として、線状をなしている。

→〈線型〉

(3) 街道筋の軸と(1)が複合された集落 … 線状の集落で、周囲に太い用水をめぐらしている。

→〈田の字型〉

(4) 新しく出来た道路沿いに形成された集落 … 車社会の到来とバイパス道路等の建設によるもの。

■ 各集落の持つ快適性とは? …… ヒューマン・スケール (人間的尺度) の記憶されたものの取り込み。

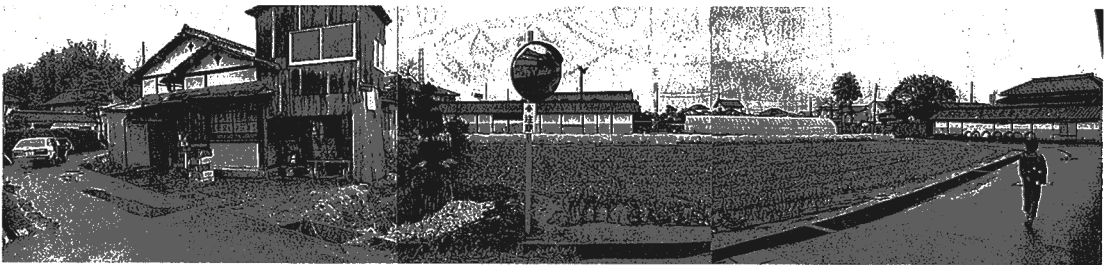
■ これからの世代交代と集落のあり方

〈過去〉農村コミュニティ → 〈今〉兼業型コミュニティ

専門型コミュニティ (集約型)

→ 〈未来〉 兼業型コミュニティ (先細り?)

非農型 (都市型 … 家庭菜園、市民農園)



「昭和町の集落形成の三タイプ」

丸型集落 (ゆるやかな沖積層)

沖積層の等高線上を地形の勾配に順次、水を引き、
効率よく水はけの良い耕地、水田を作った。

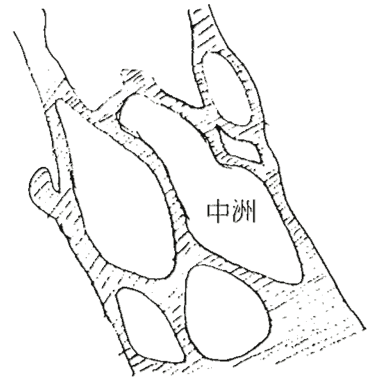
それゆえ、家並みの形状が“丸型”をしている。

例) 押越・越乃周辺、西条一、二区(山宮地)、上
河東、竜王町万才、田中、 etc.....

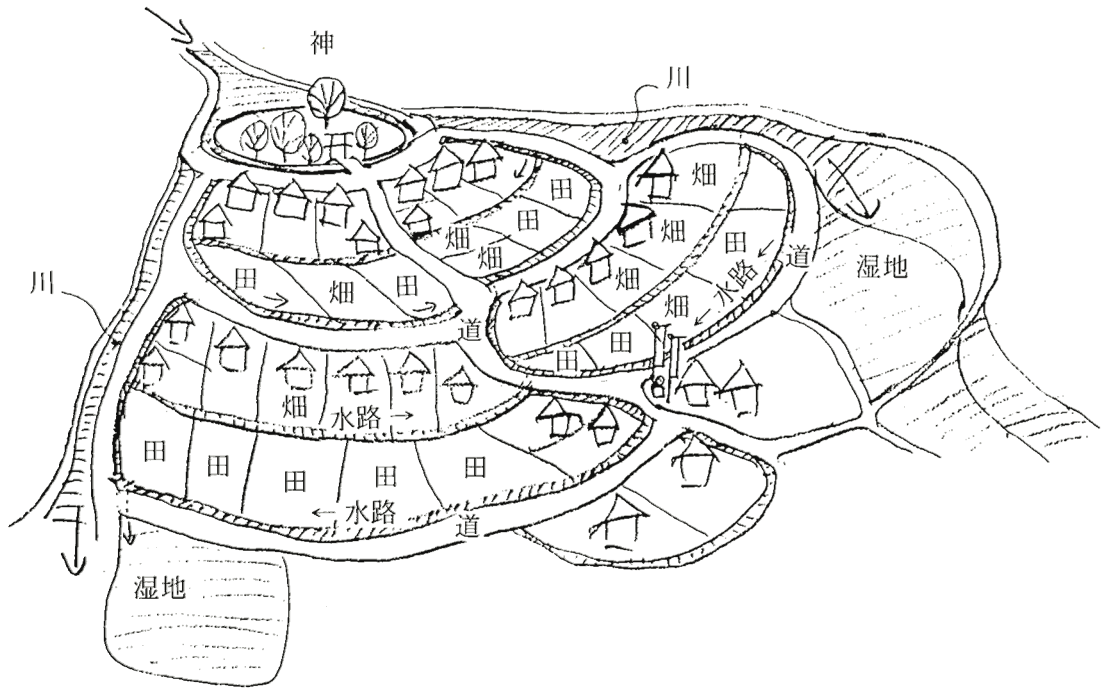
※「流れの早い沖積層」(対比)

例) 石和町の道空間(三叉路が多い)は、直線的
的な交わりから出来ている。

(「石和町景観ガイドプラン」“川のベクトル”
より)



川の中洲



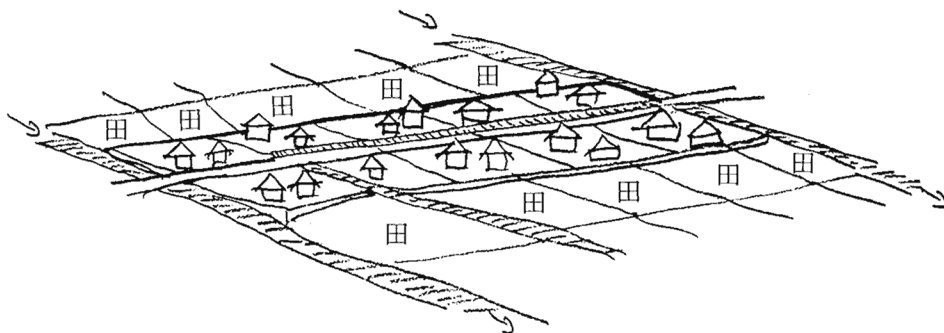
線型集落

■ 築堤が進み、開拓されながら出来た集落。

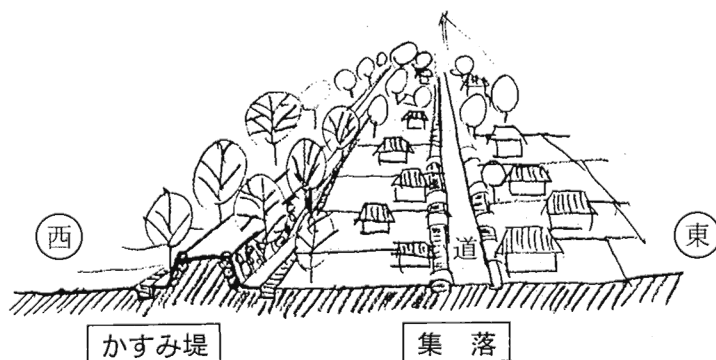
例) 西条新田、築地新居、飯喰、河西、等

<典型的な線状の西条新田>

…… 集落軸が川の流りに直交している。(防人集落?)



<“かすみ堤”の知恵>



集落軸は、川の流りに並行している。

<柳沢八十一氏>

◎ 堤の西では、雨の日の後、草取りをすると、鍬の減りが違う。

堤の西と東とでは、鍬の持ち具合の違いがれき然としている。

◎ かすみ堤によって弱められた土石流は、堤の集落内には肥えた土砂を運ぶ役目もしていた。(かすみ堤の多機能性、フィルター効果)

→ “洪水を恐れ、洪水を願う” 二律背反性を巧みに操る。……「遊水の思想」

(司馬遼太郎「谷の国」、深沢七郎「笛吹川」)

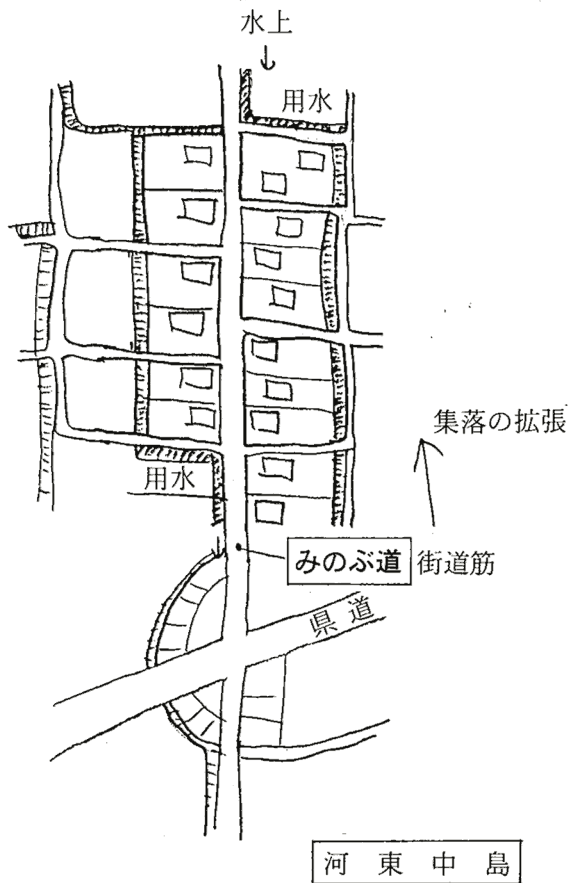
田の字型集落 …… (1)と(2)の複合タイプ

■ 街道筋を軸とし、集落の周辺に水路を配した、計画性のある集落。

例) 河東中島 …… 以前、河東中島の集落は、現在よりかなり南の県道沿い地点が中心であったと思われる。その辺は、丸型状に近い(1)のタイプをしている。

旧集落より、北側・水上に拡張していった。それと共に、区画もはっきりしている。(神社・熊ノ宮の移転)

以前の集落が堤の役目をして、水上に土砂が堆積して、集落が北方に拡張したのではないだろうか。



線型集落

“昭和町の集落のタイプ”

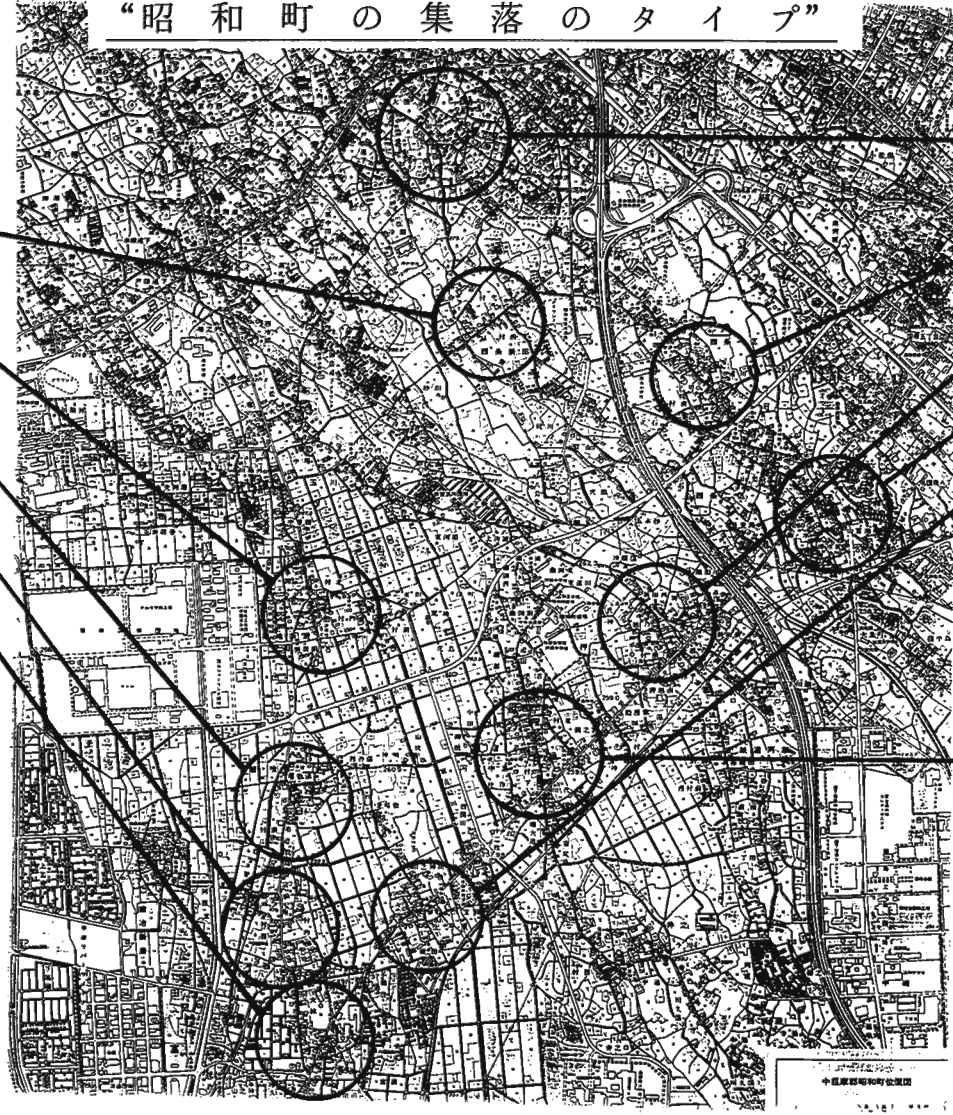
丸型集落

- ◎西条新田
- ◎築地新居
- ◎飯喰
- ◎河西
- ◎大林

- ◎竜王町万才・田中
- ◎西条一区
- ◎押越（越乃の周辺）
- ◎西条二区（山宮地）
- ◎上河東

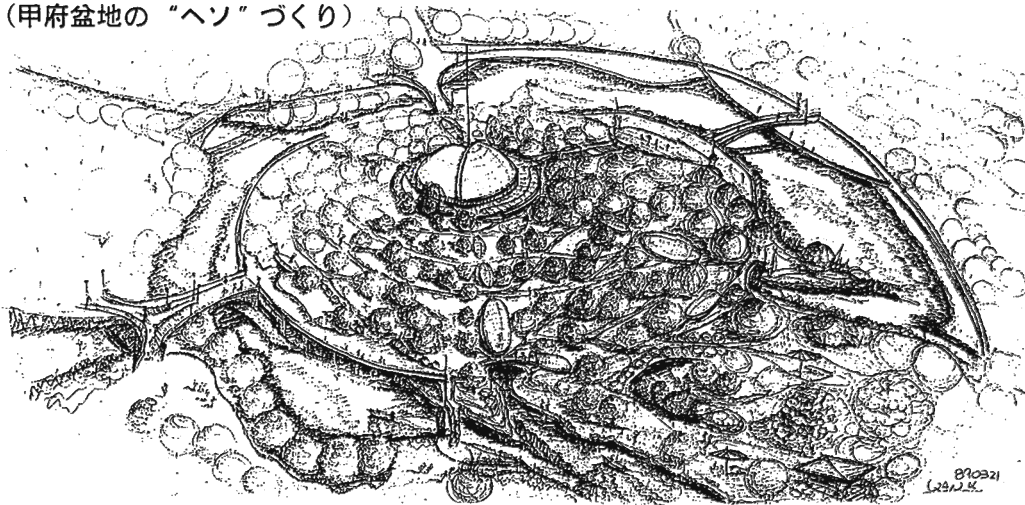
田の字型集落

- ◎河東中島

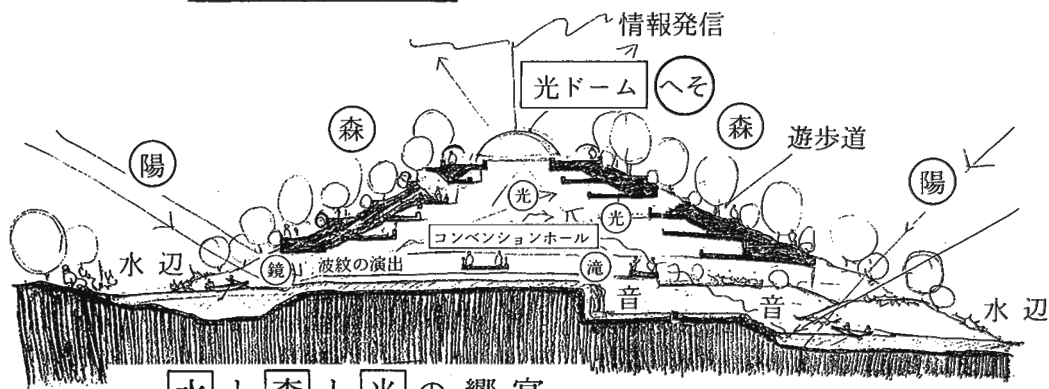


昭和の「顔」づくりへの提案

(甲府盆地の“ヘソ”づくり)



“昭和の森”公園 (中心部……コンベンション・ホール)



水と森と光の饗宴

青空と緑と産業の町

【参考】「ベネチアン・ガーデンズ集合住宅」(米国・カリフォルニア)
……美しい水辺を居住環境の中に取り入れた事例……



(特色) タウンハウス(一般家族の連続住宅)に加えて、レクリエーション施設、オフィス、商店、各種のコミュニティー施設を混在させ、職住近接の活気ある環境を創り上げている。

◎ <かすみ堤>の雰囲気を活かした

… 昭和町らしい「新しいまちづくり」の一提案 …

山梨県まちづくりアドバイザー・一級建築士 久保田 要

昭和町の河西地区、飯喰地区には、「かすみ堤」という貴重な歴史的文化的文化資源があります。いま、その周囲を含めて宅地開発することが計画されています。しかし、従来のような「土地区画整理事業」のやり方で基盤造成を行うと、かすみ堤も削り取られ、ただ道路がまっすぐ通っているだけの平凡な宅地になる恐れがあります。

そこで、せっかくの「かすみ堤」の雰囲気を生かし、歴史と自然を感じる見晴らしの良いプロムナード（散歩道）として整備してはいかが。また、周囲の宅地もゆったりと配置し、緑豊かで園芸、農業も楽しめる「緑農付き住宅」としてデザインしては如何でしょう。

そうすれば、同地区が「昭和らしいまちづくり」の代表事例となり、新旧住民のコミュニケーションも円滑に行われ、しかも、山梨で最も格調高い、「田園調布」並みの住宅地となること、多分間違いないでしょう。

…… せせらぎに蛍舞い、散歩道に花咲き誇る小径 ……

ちょっと小高いプロムナード「かすみ堤」

- ◆ 歴史と大地（自然）を感じる散歩路
- ◆ 見晴らしが良いので、景色の展開が楽しい！

（いろんな提案を盛り込んでいます！……右図参照）

☆ 家の配置を<交互>にしました（建築協定） ①

◎お互いの庭を生かした住空間

◎日当りの確保

◎プライバシーの確保

◎ゆったりとした家並の景観（質の高い住居地）

☆ ゆったり敷地で、日当たりと緑地良好 ②

☆ この環境にピッタリした、ちょっとハイセンスなレストランも出来ました。③

◎「みんな<かすみ堤>を歩いて来るんですよ！」

◎取り立ての野菜を料理に生かして！

☆ 竹林近くの和風料亭、いつも満員！ ④

◎「この環境を<味>にしているんですよ。」（亭主）

☆ 共同住宅（コーポラティブ・ハウス）3階建て ⑤

◎一区画が大きいので何人も集まり、土地を共有して建てました。

この環境に住みたくて、皆でやって来ました。（歴史と文化のおうまち）

☆ かすみ堤からだど3階にも楽に上がれる ⑥

竹の子美味しそうだわぁー！ ⑦

☆ 蛍が蘇りました！（水路） ⑧

☆ わたしゃ畑いじりがしたくて、ここに移り住んで来ました！ ⑨

◎育てる楽しみが、食べる楽しみ！ 取りたてが一番！

☆ 何でも作れる楽しい家庭菜園（水がたっぷりある！） ⑩

◎「隣は何を作るのかな。去年はきゅうりを互いに作り過ぎたから、今年しゃ別々のものを作れば楽しみが倍になるぞ！」

☆ きょうの伝言板・紹介 ⑪

「さっちゃんへ！ 学校の帰りにここで遊ぼうよ！ せいこより」

☆ 蛍が生き返ってから、いろいろ釣れるようになったよ！ ⑫

☆ 車が通らないので、安心！ ⑬

☆ 柳と淀みで一句 ⑭

☆ 足元灯（フットライト） ⑮

◎毎日来ていると季節がよく分かる。

◎夜道を魅惑的に照らし出し、夜空の美しさも楽しめます。

☆ ゆったり家庭菜園 ⑯

◎何百年も前から培われたこの土地を受け継ぐ暮らし方をしたい！

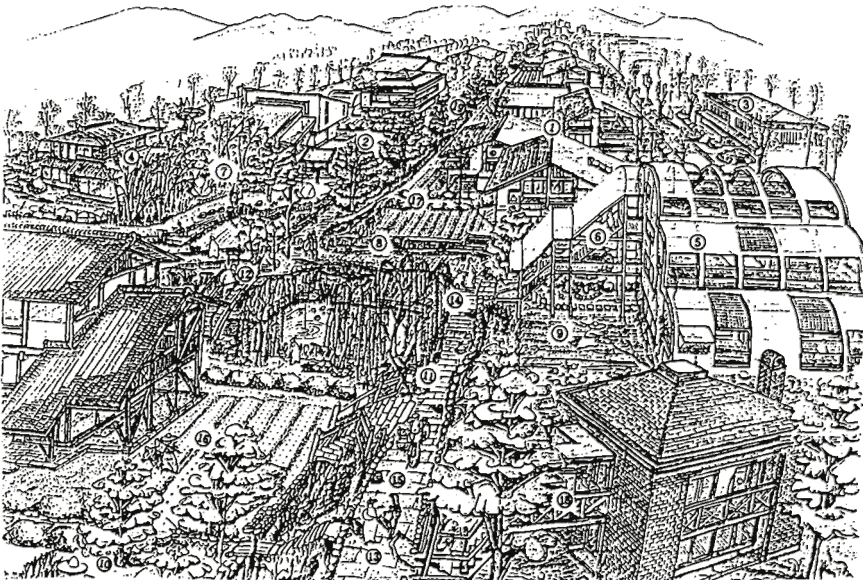
◎今、作物を育てることに、大地に責任を感じる。

「今年の収穫祭には何を出そうかな。」

☆ 塀は生け垣で地境は通路としてお互いに利用（緑化協定・建築協定） ⑰

☆ 2階に上がるのも、霞堤からは苦になりません！（三世代住宅） ⑱

☆ 毎日何か発見できる楽しい通学路 ⑲



〔かすみ堤〕プロムナードを生かした「地区計画」案

…… 住む人も訪れる人も楽しい、安全な散策道 ……

昭和にしかない、昭和でしか出来ない、

歴史と大地（自然）を生かした地区計画

「地区計画」の骨子

1. …… 緑と広がり空間のつながり。ネット（網・マトリックス）状配置による快適性（アメニティー）の確保。

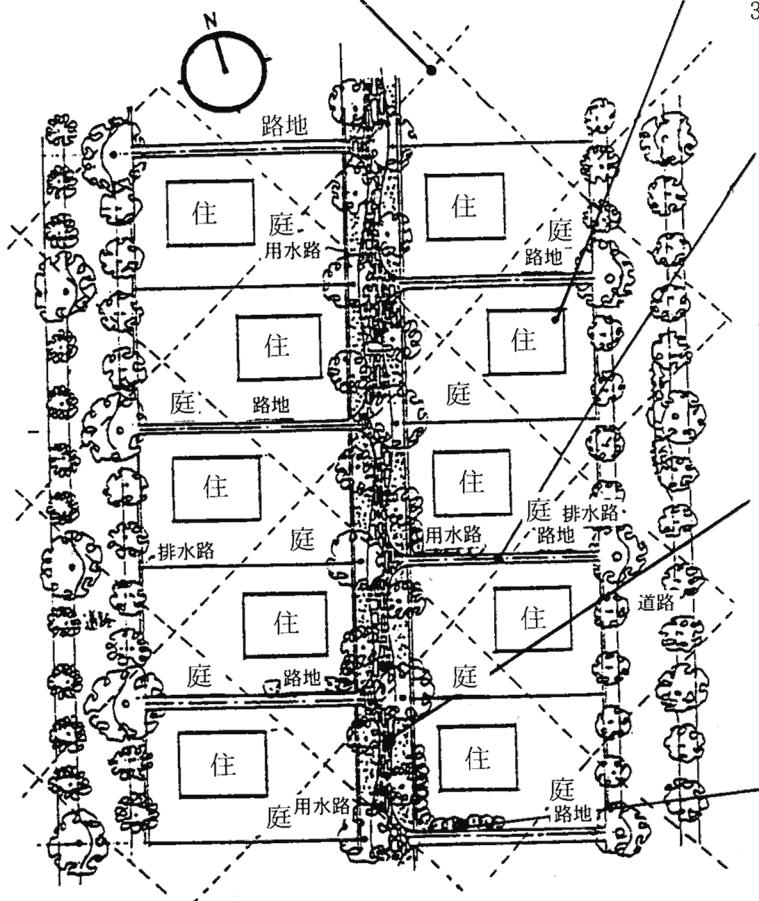
2. 住宅を交互に配置することにより、住宅自体のプライバシーを確保するとともに、緑と広がり空間（オープンスペース）の日当りの良さを得られるようにする。

また、道路やプロムナードを歩いていて、ゆったりとした景観の移り変わりと変化性（シークエンスの抑揚）を楽しむようにする。

3. 路地を交互に作ることによって、「かすみ堤」・住居・道路の有機的なつながりに役立てる。また、子供達の遊び場や路地端会議の場にも活用できるようにする。

4. 車が絶対に入らない、歩行者専用道である。
（用水路（「かすみ堤」側）と排水路（道路側）を分離して、庭木、家庭菜園に使用する水を確保するとともに、蛍や魚、水辺植物を生育させることで、自然な生活の快適度をアップさせる。

5. 住宅のプライバシーの確保と、プロムナードから遠方への見晴らしの両方を満足させる生け垣・植込みも可能です。



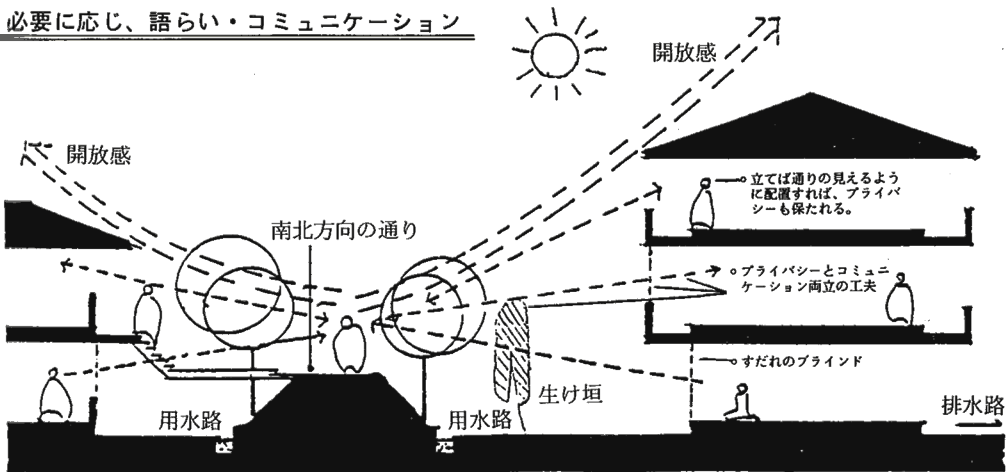
〈かすみ堤〉

平坦な散歩道（プロムナード）とは違い、ちょっと小高いプロムナード「かすみ堤」には、次のような特徴があります。

- ◎ 小高い堤は、見おろすことと見上げることの両方が出来、人間の視覚的な世界が広がり、景観の移り変わりの動きと連続性が表現できる。ここならではの「散策の楽しさ」を演出できる。
- ◎ 天空の解放感も増し、日当たりも良くなる。
- ◎ 各住居、特に二階、三階に対して、物理的に昇りやすくなる。また、橋渡しの通路（ペDESTリアンデッキ）が、空間的な楽しさと豊かさを創りだす。

通りを行き交う人達と、

必要に応じ、語らい・コミュニケーション



< かすみ堤 >



… 河西の堤防道（霞堤）…

（見晴らしの良い散歩道。釜無川の堤防として、歴史的にも価値ある道）

プログラム

● 受付 ●
(PM1:00)

● 開演 ●
(PM1:30)

あいさつ ■ 県土木部長/渡辺 義正
■ 昭和町長/泉 幸弘
■ 新しいまちづくり推進協議会長/山口国光

● 基調講演 ●
(PM1:40)

テーマ 「人間的で感性豊かな都市空間づくりに携わって」
講師 世田谷区企画部都市デザイン室長 原 昭夫

● 休憩 ●
(PM2:50)

● パネルディスカッション ●
(PM3:00)

テーマ 「地域に根差した、
魅力あるまちづくりのデザインと実践」
パネラー 原 昭夫：(都市デザイン室長)
久保田 要：(まちづくりアドバイザー)
田代 孝：(推進協議会委員)
泉 幸弘：(昭和町長)
京ヶ島昭彦：(都市拠点整備室長)
コーディネーター 北村 真一：(山梨大学助教授)

● 質疑応答 ●
(PM4:10)

● 閉会 ●
(PM4:30)

趣 旨

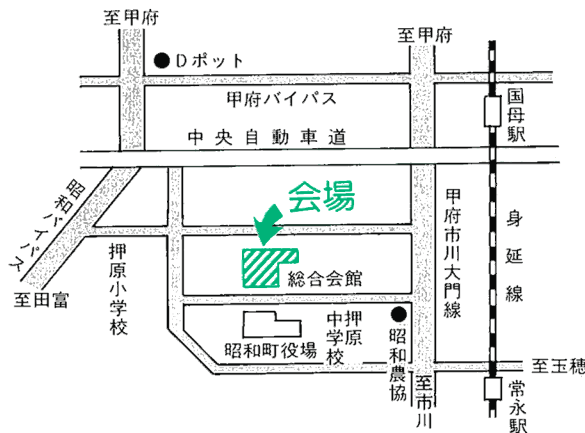
近年、高速交通網やバイパスの整備等により、中心市街地が空洞化する一方、周辺部においては市街化が進行しております。

昭和バイパスや中央道の開通、国母・釜無工業団地の建設と数多くの先端産業の進出、甲府のベットタウンとしての急激な宅地開発、バイパス沿いの商業ゾーンの活気に満ちた賑わい……

ただ、このまま無秩序に開発が進むと、ただ雑然として表情に乏しい町になってしまう恐れもあります。

そこで、今回のシンポジウムにおいては、世田谷区で進めている「生活と文化の軸」、「みどりのみずの軸」づくりなどの地域に根差した活動の紹介を通して、本県のそれぞれの地域が本来持っている豊かな自然、歴史、生活習慣等の地域特性や風土性を生かす「まちづくりビジョン」を皆で考え、創造していくために、企画いたしました。

会場までのご案内



4th
まちづくり
シンポジウム
IN
しょうわ

1989.3/25[±]
PM1:30~PM4:30